

事業所名		放課後等デイサービスキラニコ		公表日		2026年3月2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		適切である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		支援学校のお子さんも多く、配置基準より+2人多く配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		当番表や、スケジュール、利用児童、職員など毎日、子ども達が見られるように掲示している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		家の様に過ごさせています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		死角がないようにしつつ、パニック時には職員室等でクールダウンしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングを業務の中に入れている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		アンケートの結果をもとに改善を話し合い、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングを業務の中に入れている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		社労士さんに就業規則のしおりを作成してもらったり、苦情の解決に協力して頂いている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		県や市の研修は積極的に参加して、社内でも年間計画のもと研修を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月、職員でミーティングを行い作成し、保護者の方に配布している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントとモニタリングを職員全員で行い、ニーズや困りを職員で分析して作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		原案会議を行い、職員全員が参加している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎月の月初めミーティングで共有、計画にて日時など細かい打ち合わせを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントの内容も細かく毎年PDCAしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人や家族の状況にて合わせて優先をつけ支援計画に記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月のミーティングにて行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化しないようにしつつも、イレギュラーや変化が苦手な子もいるので話し合い子ども達の成長に合わせて、全体のバランスを見ながら作成している。		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		平日は個別が中心で、土、祝、長期休みは集団支援になるように計画支援している。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝一で、職員がそろい次第にミーティングで分担や役割、送迎の確認を行っている。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		先に帰ってしまった職員や、休みに職員にも共有できるように、連絡ノートとLINEにて支援の振り返り共有を行っている。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		担当を決めて、管理者が定期的にチェックを行っている。	
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングを行う月のリストを作っており、計画通りに行っている。	
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		おこなっている。	
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		細かな行動を自分で選択し、決められるように提案している。	
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者か、児童発達支援管理責任者が参画するようにしている。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		整えている。	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校には4月に挨拶に管理者が行き、児童の利用状況一覧と事業所情報をお渡しして、年2回の面談を担当の先生にお願している。	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		児童発達支援からの情報共有はあるが、保育園かたの情報共有はない。	保育園の現状、連携がとりにくいので、児童発達支援からの情報だけになりがちである。
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		提供している。実習や新しい施設職員にキラニコの職員がその施設に行き引き継ぎや、支援の内容なども引き継ぎしている。	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	徳島県のハナミズキやアイリスと連携している。支援センターさんも連携しているが日々の連携は少ない。	今後も、センターとの連携も相互に行っていく。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	児童館は保護者の方の事前登録が必要だったり、児童館も職員不足もあり現状行きづらいので、キラニコでは地域の公園に積極的に行き地域の子どもと遊べるように支援している。	公園に行った際に地域の子どもと交じれるように支援を行う。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	ケース会議には積極的に参加してしる。	今後も、あれば積極的に参加したい。
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		何でもよいような事でも、話をするようにしている。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		キラニコでの開催はないが、ハナミズキでのペアレントトレーニングの案内などは毎回、お便りを保護者の方にお渡ししている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		管理者か、児童発達支援管理責任者が契約時に説明するようにしている。	
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年に1回8月に月見ヶ丘で保護者の方も参加出来るBBQを開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	めだか販売や就労支援での地域に関わりがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーの有無や種類を、毎年保護者のかたに確認し、医師の指示書をお願いしている。	医師の指示書を提出してくれない、保護者が多いので今後も提出を求めていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			現在、身体拘束が必要な児童がいないが、どのような場合が身体拘束になるのかは話し合っている。	